

# Profile

## 藤岡 幸夫 Sachio Fujioka

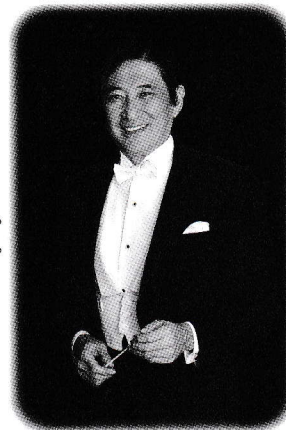
英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。  
1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価され、翌1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。以降ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル等数多くの海外オーケストラに客演。2006年オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」でスペインにオペラ・デビュー。その年の同劇場新演作品のベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに輝き、2009年にR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び脚光を浴びた。2016年にはブリュッセルでA.デュメイ、V.アファナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を収めた。

マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在、関西フィル首席指揮者、東京シティ・フィル首席客演指揮者。毎年40公演以上を指揮し、2022年に23年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得ている。

テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜8時半）は2022年9月に9年目を迎える。

東大阪市特別顧問。滋賀県長浜市PR大使（文化観光大使）。きょうと城陽応援大使。  
2020年エッセイ集『音楽はお好きですか？』（敬文舎）を、2021年12月続刊を刊行。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/> Twitterアカウント @sacchiyo608



©SHIN YAMAGISHI

## 市原 愛 (ソプラノ) Ai Ichihara (Soprano)

東京藝術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学大学院を修了。その後ドイツを中心に欧州各地の歌劇場やオーケストラに客演。

国内では、小澤征爾、クリスティアン・アルミンク、ハンス＝マルティン・シュナイトなどの指揮者のもと、主要オーケストラと共演。2013年トリノ王立歌劇場日本公演では「仮面舞踏会（ヴェルディ）」でオスカル役に、15年には錦織健プロデュース・オペラVol.6「後宮からの逃走（モーツァルト）」の全国ツアーでブロンデ役に起用され、その歌唱力と演技で聴衆を魅了した。

17年にはトリノ王立歌劇場管弦楽団のコンサートマスター、首席チェロ奏者、ピアニストによる「トリノ・トリオ」日本ツアーに参加。同年クリストフ・エッセンバッハ指揮NHK交響楽団「第九」、19年2月にはフィルハーモニー・ド・パリで行われた「久石譲 シンフォニック・ガラ・コンサート」のソリストを務め、聴衆を魅了。21年7月佐渡裕プロデュース・オペラ「メリー・ウィドウ」ヴァランシエンヌ役で、好評を博す。

現在、リサイタルやオペラ、オーケストラとの共演、テレビへの出演等で活躍している。

オフィシャル・ホームページ <http://www.aiichihara.com/>



©Akira Muto

## 錦織 健 (テノール) Ken Nishikiori (Tenor)

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また、五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。

第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回グローバル東敦子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。

1986年「メリー・ウィドウ」カミュー役でデビュー、以後、数多くのオペラ公演に出演。

また、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」「交響曲第9番」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルトやヴェルディの「レクイエム」等のソリストとして高く評価を受け、親しみやすいトークを交えたリサイタルでも、多くのファンを魅了している。この他、2000年、03年のNHK紅白歌合戦への出演や2012年より6年間NHK-FM「DJクラシック」のパーソナリティーを務めるなど、テレビやラジオ番組への出演も多い。2021年5月よりNHK「ラジオ深夜便」ミッドナイトトークのゲストとして隔月で出演。

2002年からはオペラ・プロデュースも始め、2015年には第6弾モーツァルト作曲「後宮からの逃走」も手がけた。

CDは、ポニー・キャニオンより「恋人を慰めて」「すみれ」「砂山」「秋の月」「錦織健 日本をうたう〜故郷〜」「錦織健 アリアを歌う」「錦織健プラチナム・ベスト」等が発売されている。



©大八木宏武(都恋堂)

## 関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年より公益財団法人化。2020年に楽団創立50周年を迎えた。世界的ヴァイオリニストでもあるA.デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。

『ヒューマニズム』をテーマに聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。また、2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。活動に明確なビジョンを持ち挑戦し続ける個性派楽団として、ますます好評を博している。15年5月から6月にかけて、3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催、各地で大きな注目を集めた。

飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」（2021年1月）が2021年度音楽クリティック・クラブ賞を受賞。

BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/> Twitterアカウント @kansaiphil

### ❖ ご来場の皆様へ

■以下のいずれかに該当する方はご入場をお断りします。

・未就学児の方 ・マスクを着用していない方 ・37.5度以上の発熱がある方 ・その他、スタッフの案内に従っていない方

■以下の取り組みにご協力をお願いします。

・B席を500円でご購入の方、無料招待の方は、年齢が確認できる書類（学生証、免許証など）をご持参の上、ご来場ください。入場時に確認を行わせていただきます。

・祝い花、プレゼント、差し入れ等の受付はできません。また、入り待ち、出待ち及び面会はお控えください。

※その他の注意事項は、奈良県文化会館のホームページ (<https://www.pref.nara.jp/61641.htm>) をご覧ください。